

新型コロナウイルスに対する注意喚起

中国武漢市から発生した新型コロナウイルスによる肺炎が、世界中に広がりつつあります。日本国内でも既に4例以上報告されており、今後の感染拡大が懸念されます。旅行や一時帰国等を目的に渡航を予定している方は、情報収集と予防措置に務めるとともに、日本へ帰国後に発熱等が出現した際は、直ちに医療機関に連絡を取ってください。

<新型コロナウイルスによる肺炎の特徴>

潜伏期間

- ・平均10日（2～14日と風邪やインフルエンザと比較して幅があります）

症状

- ・高熱、咳、呼吸困難などの重い呼吸器症状
- ・倦怠感、関節痛・頭痛など呼吸器以外の症状が出ることもあります

感染経路

- ・飛沫感染（咳やくしゃみ）、接触感染（発症者が触れたものに触ったりして感染）
- ・ヒトからヒトへの感染も疑われています

予防・対処法

- ・予防接種は現時点ではありません
- ・旅行等により海外から入国した場合、入国後2週間は発熱などの症状の出現に注意してください
- ・人込みでのマスク着用、日常生活においてはうがいや丁寧な手洗いを励行してください（コロナウイルスにはアルコール消毒が有効と言われています）
- ・医療機関で新型コロナウイルス肺炎と診断された場合は、**出勤および登校せずに**、所属部署（学生は学務担当窓口）か保健管理センターに**電話で連絡**を入れてください